令和元年　決算特別委員会2日目【総務費】

↓↓↓質疑応答↓↓↓

【松澤質問】

品川区の人口は令和元年7月1日に40万人を超え、区民の9割が住み続けたいとのアンケート回答結果には、私も生まれ育った町として大変誇りに思う。

しかし、人口増加に伴い、薄れゆく地域の繋がりがある事も切実に感じている。

そこで品川区における町会・自治会加入への促進活動をどのように行っているのか？

【川島地域活動課長答弁】

町会・自治会関係のリーフレット及び地区別加入促進チラシを作成、配布しているほか、転入者を中心に町会加入申し込みはがきを配布している。

平成30年にはシナモロールを活用、はがきのデザインを印刷した。今年度も引き続きデザインを一新し、新たにＱＲコードによる電子申請を導入、加入促進用の物品の購入費に対する補助制度などを設け支援している。

【松澤質問】

先ほどの話の中に加入促進はがきとありますが、シナモロールを活用したかわいい物で、このはがきはどのように使い、どこで配布しているのか？

また、加入はがき及び、電子申請による加入申し込み件数がわかれば教えて頂きたいのと、このはがきによる加入率が平成29年度の9件から平成30年度は57件と大きく伸びているが、これは転入者増加の影響も大きいのではないかと思うが、区の考えをお聞かせ下さい。

最後に、電子申請の事が触れられているが、電子申請による過去の町会・自治会への加入実績も教えて下さい。

【川島地域活動課長答弁】

はがきが置いてある場所は転入手続きで訪れる地域センターや戸籍住民課の窓口を中心に活用し、成人式、子育てメッセなどのイベントでも配布している。

ＱＲコードの使用開始については、今年の7月15日からスタートしたばかりの為、実績はまだないので区のホームページへのリンクを掲載するなど、引き続き周知に努める。

それから平成30年度の実績が増えた分析については、前の年が低い所も要因をつかみきれてはおらず、委員ご指摘通り確かに転入者も平成29年度から30年度では2300人ほど増えており、そういう分析も間違いではないかと思われる。

ただ今の57件の加入実績でいいと言う風に私どもも思いません。今後はがきや電子申請と言った仕組みを活用してより一層、町会・自治会への加入が増加するよう、支援に努める。

【松澤質問】

中々進まない事業だと思うが、引き続きしっかりと電子申請などの周知をし、加入率が多くなるよう努力して頂きたい。

また、町会の中には円滑に世代交代が進んでいる町会もある。

そのような町会を参考事例として品川区の方で紹介、また品川区役所の退職者、地域振興に意欲的な方、そのご本人に承諾を頂き町会に紹介する。

これは声をかけていただかないと町会に入りづらいと言う声が多く聞こえたからであり、そういった取り組みは良いかと思いますが品川区としてどうか。

【川島地域活動課長答弁】

委員ご指摘の町会・自治会活動の参考事例の紹介などについては、区として活動内容を紹介するパンフレットを現状でも作成しているほか、例えばトップランナー事業に採択された事業について、他の町会・自治会の参考になるとして紹介する取り組みも今後考えており、非常に有意義なことだと思う。

それから、品川区の職員の町会や自治会の役員へのお手伝いは退職者に限らず、若手でも公務員以外、民間企業の方でも人材の有効活用としては非常に有効な取り組みであり、例えば自分の仕事のスキルを活かし、ポロボノと言う社会貢献活動をする方も少しずつ増えているところである。そのプロボノ希望者をＮＰＯなどの仲介するサービスも行われており、活性化支援については、関係各課と地域活動かが連携し一丸となった取り組みが必要で、こうした状況や受け入れ側となる町会・自治会の意識も非常に大きく、そのような意向も確認しながら適切な方策を探って参る。

【松澤質問】

町会も中々若手が育たない、そういった声が大変多く聞こえますので品川区と一緒に私たちも町会加入促進事業を頑張りたいと思います。

次に、自動通話録音機購入について質問致します。

昨年度、東京都で起こった特殊詐欺は、認知件数を含め、3,913件で被害額は84億余と認識しており、品川区で昨年度の詐欺による被害件数を教えて下さい。

【黛生活安全担当課長答弁】

昨年の品川区における特殊詐欺の被害は193件、被害額は3億5,400万余となります。

【松澤質問】

大変大きな数字でショックを受けております。

その中で、被害に遭われたご家庭の内、この児童通話録音機を設置していたご家庭があればわかる範囲でいいので教えて下さい。

【黛生活安全担当課長答弁】

区内において自動通話録音機を設置したお宅での被害は確認されていない。

【松澤質問】

そうすると、この装置は大変有効であると思われる。

東京都の政策だと思うが、区民の財産を守る物として品川区でも補助を上乗せするなどできないものなのか。

【黛生活安全担当課長答弁】

委員ご指摘の通り、自動通話録音機については都の補助事業を活用しながら実施していると聞いており、都でも区市町村の要望を調整しながら補助金の額を決定していると聞いており、気持ちは何万台と導入したいが厳しい状況である。

引き続き都の補助を活用しながら区の財政当局とも相談し、可能な限り貸与するよう努めて参る。

【松澤質問】

対応の程よろしくお願い致します。

次に防犯活動支援について質問します。

この事業は平成24年より始まり、地域に密着した防犯パトロール活動を実施する団体を支援する助成金と認識しており、私もＰＴＡ会長時代にこの制度を活用させて頂き、学校と地域による見守り活動を始めた。

その会議の中で助成金が少ないとの声が非常に多く上がっており、改めてこの制度の説明を簡単にお願いしたい。

【黛生活安全担当課長答弁】

品川区自主的防犯活動助成金交付要綱に定めがあり、地域における防犯発生を未然に防止するため、ボランティアの皆さんに実施して頂く自主的防犯パトロールを実施する団体に助成金を交付、団体設立に10万円、運営支援として3年に1回5万円を交付するものである。

【松澤質問】

ありがとうございます。人数が多くなると経費がかかり、会議の中でも特に八潮地区から声があげっておりますが、助成金が少なく運営が大変です。地域包括ケアの共助にあたる素晴らしい活動だと思っておるが、品川区として手を差し伸べて頂きたい。

【黛生活安全担当課長答弁】

品川区における認知件数は最悪を記録した平成14年が7,000件だったが、昨年は役2,600件と減少し戦後最も治安の良い水準となり、自主的に防犯活動を続けて頂いた皆様のお力添えのものと認識している。

この場を借りて御礼申し上げます。

そうした中、こうした活動は大変重要であると認識しており、委員からご指摘があった要望についても聞いています。ご意見参考にしながら、より地域の皆様に的確な支援ができるように検討を続けて参る。

【松澤質問】

減少傾向にあるのは大変嬉しい、助成金の引き上げをご検討頂き、最後になるが豊町1丁目の遺贈物、寄付された土地となり福祉施設を建てて欲しいとの思いを忘れず、地元町会と話し会いの上、良い土地活用の利用を要望する。